R6初期支援型　地域資源としての茅葺き古民家の保存再生活動

大学　市川　尚紀
近畿大学
工学部建築学科　教授

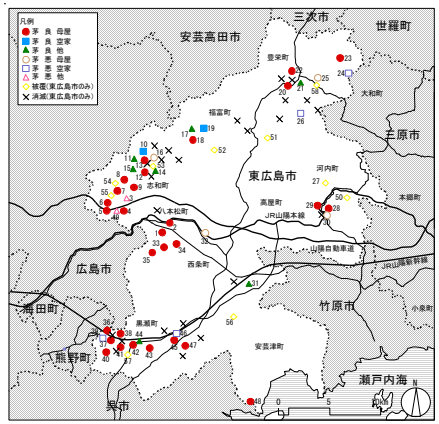
市担当課　×
地域振興部志和出張所

1 課題

志和地域には数多くの茅葺き古民家が残っているが、その存続が課題となっている。地域資源として古民家に新たな価値を見出し、地域住民が関わりをもって地域の活性化に向けて利活用する必要がある。

2 概要

茅葺き古民家を保存再生させるため、耕作放棄地を地域の「共同茅場」として活用し、地域で茅を調達する仕組みを構築する。



▲東広島市に分布する茅葺き古民家

▲茅刈りWS

▲茅ほうきづくりWS

▲茅モニュメント制作WS

▲かやぶきシンポジウム2025

3 研究成果　データ取得・分析

茅ほうきWS、茅モニュメント制作WS、茅刈りWS、茅金市場調査、かやぶきシンポジウムなどを実施することで、かやぶきの関心者のネットワークが広がり、藝州茅のブランド化を目指す機運が高まった。

4 今後の展望・現状　次の研究段階へ前進

今は、茅に関心のある人だけのネットワークにとどまっているため、地域ぐるみでの保存再生活動、この地域の貴重な資源であることの周知や、共同茅場の確保、採取した茅の経済的循環の仕組みづくりを目指す。